# (略称)油による汚染損害補償国際条約の二千三年の議定書

八	七	六	五.	兀	$\equiv$	<u> </u>		√ <del>\</del> _	目								
条	条	条	条	条	条	条	条	文 :									
裁判所の判定の承認及び執行力の付与 四一六	裁判管轄権 四一六	補償を請求する権利 四一六	補償の決定 四一五	定義 四一五	適用の範囲 四一四	追加基金の設立 四一四	定義 四一三		次	平成 十七年 三月 三日 我が国について効力発生	十七年 二月	平成 十七年 二月 十八日 公布 (条約第五号)	十六年 七月	十六年 七月	平成 十六年 六月 十日 国会承認	平成 十七年 三月 三日 効力発生	平成 十五年 五月 十六日 ロンドンで作成

前

第

第

第 第 第 第

第

第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第
十	三	于	+	干	干	干	干	$\overline{+}$	十	第二十一	<del>-</del> +	十九	十八	十七	十六	十五	十四四	十三三	+ =	+	+	九
第三十一条	第三十条	一十九条	第二十八条	一十七条	第二十六条	一十五条	第二十四条	第二十三条	第二十二条	条	下 条	条	条	条	へ条	五条	条	二条	条	条	条	条
						_																
言語	寄託者	追加基金の清算	終了	総会の臨時会期	廃棄	千九百九十二年基金条約の議定書	補償の限度額の改正	改正	総会の第一回会期	効力発生	拠出油に関する通知	署名、批准、受諾、承認及び加入	経過規定	事務局長	追加基金の組織及び管理	不遵守	油のみなし最低受取量	油の受取に関する情報の送付	拠出義務の履行の確保	年次拠出金の額の決定	年次拠出金	代位
匹	匹	兀	匹	匹	兀	兀	匹	兀	四	四	四	兀	匹	匹	兀	兀	兀	兀	兀	兀	兀	兀
四六	四五五	四五元	四五五	四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四四	四三四四	匹三三	匹三	匹三	匹三	匹二	匹三	匹二			九	九	九	八	八	七	七	六

末

義

この議定書の締約国は

定書

千九百九十二年の油による汚染損害の補償のための国際基金の設立に関する国際条約の二千三年の議

約」という。 九百九十二 )に留意し、二年の油による汚染損害についての民事責任に関する国際条約 (以下「千九百九十二年責任条

一年基金条約」という。)を考慮し、十九百九十二年の油による汚染損害の補償のための国際基金の設立に関する国際条約 (以 下 「千九百九十

し、油による汚染に関する責任並びに賠償及び補償の国際的な制度を存続させることが重要であることを確認油による汚染に関する責任並びに賠償及び補償の国際的な制度を存続させることが重要であることを確認

たすために十分でないおそれがあることに留意し、午九百九十二年基金条約の下での補償の総額が、特定の場合には同条約の締約国における補償の必要を満たする人のでは、

基金条約の多数の締約国が必要と認めることを認識し、資金を利用可能とすることを、緊急に処理を要する事項として千九百九十二年責任条約及び千九百九十二年資金を利用可能とすることを、緊急に処理を要する事項として千九百九十二年責任条約及び千九百九十二年加入を希望する国が加入することのできる追加的な制度を創設することによって、補償のための追加的な

ことを確保することを追求し、及び被害者の直面する困難を緩和すべきであることを確信し、の追加的な制度により、油による汚染損害の被害者がその損失又は損害に対する十分な補償の支払を受ける補償のための国際基金が確定された債権の一定の割合のみを弁済することを暫定的に決定した場合には、こ権を完済するために十分でないおそれがあり、かつ、その結果として千九百九十二年の油による汚染損害の権を完済するために十分でないおそれがあり、かつ、その結果として千九百九十二年の油による汚染損害の権を完済するために十分でないおそれがあり、かつ、その結果として千九百九十二年直任条約及び千九百九十二年基金条約の下で利用可能な賠償額及び補償額が確定された債

この追加的な制度への加入は、 千九百九十二年基金条約の締約国にのみ開放されることを考慮して、

次のとおり協定した。

般規定

第 一条

この議定書の適用上、

1 際条約をいう。 「千九百九十二年責任条約」とは、千九百九十二年の油による汚染損害についての民事責任に関する国

## PROTOCOL OF 2003 TO THE INTERNATIONAL CONVENTION ON THE ESTABLISHMENT OF AN INTERNATIONAL FUND FOR COMPENSATION FOR OIL POLLUTION DAMAGE, 1992

## THE CONTRACTING STATES TO THE PRESENT PROTOCOL,

BEARING IN MIND the International Convention on Civil Liability for Oil Pollution Damage, 1992 (hereinafter "the 1992 Liability Convention"),

Fund for Compensation for Oil Pollution Damage, HAVING CONSIDERED the International Convention on the Establishment of an International Fund for Compensation for Oil Pollution Damage, 1992 (hereinafter "the 1992 Fund Convention"),

AFFIRMING the importance of maintaining the viability of the international oil pollution liability and compensation system,

insufficient to meet compensation needs in certain circumstances in some Contracting States to NOTING that the maximum compensation afforded by the 1992 Fund Convention might be that Convention,

compensation through the creation of a supplementary scheme to which States may accede they so wish, RECOGNIZING that a number of Contracting States to the 1992 Liability and 1992 Fund Conventions consider it necessary as a matter of urgency to make available additional funds for

the 1992 Liability and 1992 Fund Conventions will be insufficient to pay established claims in full and that as a consequence the International Oil Pollution Compensation Fund, 1992, has BELIEVING that the supplementary scheme should seek to ensure that victims of oil pollution damage are compensated in full for their loss or damage and should also alleviate the difficulties decided provisionally that it will pay only a proportion of any established claim faced by victims in cases where there is a risk that the amount of compensation available under

States to the 1992 Fund Convention CONSIDERING that accession to the supplementary scheme will be open only to Contracting

Have agreed as follows:

#### General provisions

#### Article 1

For the purposes of this Protocol:

Oil Pollution Damage, 1992; "1992 Liability Convention" means the International Convention on Civil Liability for

- に関する国際条約をいう。 2 「千九百九十二年の油による汚染損害の補償のための国際基金の設立 2 「千九百九十二年基金条約」とは、千九百九十二年の油による汚染損害の補償のための国際基金の設立
- 染損害の補償のための国際基金をいう。 「千九百九十二年基金条約により設立された千九百九十二年の油による汚3 「千九百九十二年基金」とは、千九百九十二年基金条約により設立された千九百九十二年の油による汚
- 「締約国」とは、別段の定めがある場合を除くほか、この議定書の締約国をいう。
- がある場合を除くほか、「追加基金」と読み替える。5 千九百九十二年基金条約の規定をこの議定書に準用する場合には、同条約中の「基金」は、別段の定め
- 百九十二年責任条約第一条において定義されるこれらの語の意味と同一の意味を有する。6 「船舶」、「者」、「所有者」、「油」、「汚染損害」、「防止措置」及び「事故」という語は、千九
- 有する。 
  「拠出油」、「計算単位」、「トン」、「保証提供者」及び「受入施設」という語は、別段の定めがあて 
  「拠出油」、「計算単位」、「トン」、「保証提供者」及び「受入施設」という語は、別段の定めがあ
- ろうものをいう。 
  百九十二年基金条約第四条4に定める限度額が適用されていなければその全額について補償を受けたであ百九十二年基金を拘束しかつ再び通常の方式で審理されることがないものにより認められた債権であって、千九8 
  「確定された債権」とは、千九百九十二年基金が認めた債権又は権限のある裁判所の決定で千九百九十8
- な国際基金の総会をいう。 「総会」とは、別段の定めがある場合を除くほか、二千三年の油による汚染損害の補償のための追加的 9 「総会」とは、別段の定めがある場合を除くほか、二千三年の油による汚染損害の補償のための追加的
- 10 「機関」とは、国際海事機関をいう。
- 11 「事務局長」とは、機関の事務局長をいう。

#### 第二条

の設立 追加基金

- する汚染損害の補償のための追加的な国際基金をこの議定書により設立する。1「二千三年の油による汚染損害の補償のための追加的な国際基金」(以下「追加基金」という。)と称
- は、追加基金の事務局長を追加基金の法律上の代表者と認める。つ、当該締約国の裁判所における裁判上の手続の当事者となることができる法人と認められる。各締約国2 追加基金は、各締約国において、当該締約国の法令に基づき権利及び義務を有することができ、か

N

#### 第三条

囲適用

の範

この議定書は、次のものについてのみ適用する。

- (a) 次の区域において生ずる汚染損害
- (i) 締約国の領域(領海を含む。)

"1992 Fund Convention" means the International Convention on the Establishment of an International Fund for Compensation for Oil Pollution Damage, 1992;

2

- "1992 Fund" means the International Oil Pollution Compensation Fund, 1992, established under the 1992 Fund Convention;
- "Contracting State" means a Contracting State to this Protocol, unless stated otherwise;
- When provisions of the 1992 Fund Convention are incorporated by reference into this Protocol, "Fund" in that Convention means "Supplementary Fund", unless stated otherwise;
- "Ship", "Person", "Owner", "Oil", "Pollution Damage", "Preventive Measures" and "Incident" have the same meaning as in article I of the 1992 Liability Convention;
- "Contributing Oil", "Unit of Account", "Ton", "Guarantor" and "Terminal installation" have the same meaning as in article 1 of the 1992 Fund Convention, unless stated otherwise;
- "Established claim" means a claim which has been recognised by the 1992 Fund or been accepted as admissible by decision of a competent court binding upon the 1992 Fund not subject to ordinary forms of review and which would have been fully compensated if the limit set out in article 4, paragraph 4, of the 1992 Fund Convention had not been applied to that incident;
- "Assembly" means the Assembly of the International Oil Pollution Compensation Supplementary Fund, 2003, unless otherwise indicated;

9

000

7

6

- 10 "Organization" means the International Maritime Organization;
- 11 "Secretary-General" means the Secretary-General of the Organization.

#### Article 2

- An International Supplementary Fund for compensation for pollution damage, to be named "The International Oil Pollution Compensation Supplementary Fund, 2003" (hereinafter "the Supplementary Fund"), is hereby established.
- The Supplementary Fund shall in each Contracting State be recognized as a legal person capable under the laws of that State of assuming rights and obligations and of being a party in legal proceedings before the courts of that State. Each Contracting State shall recognize the Director of the Supplementary Fund as the legal representative of the Supplementary Fund.

#### Article

This Protocol shall apply exclusively

- (a) to pollution damage caused
- (i) in the territory, including the territorial sea, of a Contracting State, and

(ii)

幅を測定するための基線から二百海里を超えないものいては、その締約国の領海に接続しかつその締約国が国際法に従って決定する水域であって、領海」国際法に従って設定された締約国の排他的経済水域。排他的経済水域を設定していない締約国に

のつ

追加的な補償

第四条

に、そのような者に対し補償を行う。定された債権について千九百九十二年基金条約の下で十分かつ適正な補償を受けることができない場合定された債権について千九百九十二年基金条約の下で十分かつ適正な補償を受けることができない場合な補償の限度額を超え又は超えるおそれがあるため、当該汚染損害を被った者が当該汚染損害に関する確1 追加基金は、一の事故について、汚染損害の総額が千九百九十二年基金条約第四条4に定める適用可能

に支払われる賠償額及び補償額との合計額が七億五千万計算単位を超えないように制限される。対象とされている汚染損害につき千九百九十二年責任条約及び千九百九十二年基金条約に基づいて実際の追加基金がこの条の規定に基づいて支払う補償の総額は、一の事故について、その額とこの議定書の

2

引出権に対して有する価値に従って、当該通貨に換算する。千九百九十二年基金条約に基づいて支払われる最高額の換算のために特定する日に当該国の通貨が特別(1) (4)に規定する七億五千万計算単位の額は、千九百九十二年基金の総会が千九百九十二年責任条約及び

る金額との割合がすべての債権者について同一となるような方法で分配する。は、支払に充てられる金額は、確定された債権の額と債権者に対しこの議定書に基づいて実際に支払われる。追加基金に対する確定された債権の額が2の規定に基づいて支払われる補償の総額を超える場合に

w

4 追加基金は、第一条8に定義する確定された債権についてのみ補償を行う。

第五条

おからの場合に基づく弁済を受けない部分について、弁済するか否か及びどの程度弁済するかを決定す行う。この場合において、追加基金の総会は、確定された債権のうち千九百九十二年責任条約及び千九百九行う。この場合において、追加基金の総会は、確定された債権の一定の割合についてのみ弁済を行うことを暫定的に又は最終的に決定した場合に、補償を規定に基づいて支払に充てられる補償の総額を超え又は超えるおそれがあると認め、かつ、その結果として規定に基づいて支払に充てられる補償の総額を超え又は超えるおそれがあると認め、かつ、その結果として規定に基づいて支払に表する。

(ii) in the exclusive economic zone of a Contracting State, established in accordance with international law, or, if a Contracting State has not established such a zone, in an area beyond and adjacent to the territorial sea of that State determined by that State in accordance with international law and extending not more than 200 nautical miles from the baselines from which the breadth of its territorial sea is measured;

to preventive measures, wherever taken, to prevent or minimize such damage

ਭ

## Supplementary Compensation

#### Article '

The Supplementary Fund shall pay compensation to any person suffering pollution damage if such person has been unable to obtain full and adequate compensation for an established claim for such damage under the terms of the 1992 Fund Convention, because the total damage exceeds, or there is a risk that it will exceed, the applicable limit of compensation laid down in article 4, paragraph 4, of the 1992 Fund Convention in respect of any one incident.

(a) The aggregate amount of compensation payable by the Supplementary Fund under this article shall in respect of any one incident be limited, so that the total sum of that amount together with the amount of compensation actually paid under the 1992 Liability Convention and the 1992 Fund Convention within the scope of application of this Protocol shall not exceed 750 million units of account.

(b) The amount of 750 million units of account mentioned in paragraph 2(a) shall be converted into national currency on the basis of the value of that currency by reference to the Special Drawing Right on the date determined by the Assembly of the 1992 Fund for conversion of the maximum amount payable under the 1992 Liability and 1992 Fund Conventions.

Where the amount of established claims against the Supplementary Fund exceeds the aggregate amount of compensation payable under paragraph 2, the amount available shall be distributed in such a manner that the proportion between any established claim and the amount of compensation actually recovered by the claimant under this Protocol shall be the same for all claimants.

The Supplementary Fund shall pay compensation in respect of established claims as defined in article 1, paragraph 8, and only in respect of such claims.

#### Article 5

The Supplementary Fund shall pay compensation when the Assembly of the 1992 Fund has considered that the total amount of the established claims exceeds, or there is a risk that the total amount of established claims will exceed the aggregate amount of compensation available under article 4, paragraph 4, of the 1992 Fund Convention and that as a consequence the Assembly of the 1992 Fund has decided provisionally or finally that payments will only be made for a proportion of any established claim. The Assembly of the Supplementary Fund shall then decide whether and to what extent the Supplementary Fund shall pay the proportion of any established claim not paid under the 1992 Liability Convention and the 1992 Fund Convention.

#### 養 裁 判 管 轄

- 第十五条2及び3の規定に従うことを条件として、追加基金に対して補償を請求する権利が千九百九十二年基金条約第六条の規定により消滅した場合に十二年基金条約第六条の規定に従うことを条件として、追加基金に対して補償を請求する権利は、千九百

利 求 補 賞 を 請

第六条

#### 第七条

- 金に対して提起される補償の請求の訴えについて準用する。1.千九百九十二年基金条約第七条1及び2並びに4から6までの規定は、第四条1の規定に基づき追加基
- 2 汚染損害の賠償についての訴えが船舶の所有者又はその保証提供者に対し千九百九十二年責任条約第九条の規定に基づいて権限を有するものに提起されている場合には、第四条の規定に基づく追加基金に対する訴えは、債権約国でない国の裁判所に提起されている場合には、第四条の規定に基づく追加基金に対する訴えについて、専属的管轄権を有する。ただし、千四条の規定に基づく補償についての追加基金に対する訴えについて、専属的管轄権を有する。ただし、千四条の規定に基づいて権限を有する裁判所に提起されている場合には、その裁判所が、同一の損害に係る第条の規定に基づいて権限を有するものに提起されている場合には、その裁判所が、同一の損害に係る第余の規定に基づいて権限を有するものに提起する。
- 国の裁判所で1の規定に基づいて権限を有するものに提起する。対する関連の訴えは、債権者の選択により、追加基金の本部がある国の裁判所に、又はこの議定書の締約財する関連の訴えは、債権者の選択により、追加基金の本部がある国の裁判所に、又はこの議定書の締約国でない国の裁判所に提起されている場合には、追加基金に基金条約の締約国であるがこの議定書の締約国でない国の裁判所に提起されている場合には、追加基金に対する訴えが千九百九十二年

w

#### 第八条

与行認判裁

力及決判の付執承の 付執承の

- ことを条件とする。 り、判決が少なくとも1の規定に基づく場合と同一の程度まで承認されかつ執行されることが確保される 9、判決が少なくとも1の規定に基づく場合と同一の程度まで承認されかつ執行されることが確保 される 総約国は、判決の承認及び執行のため他の規則を適用することができる。ただし、当該規則の適用によ

#### 第九条

代

位

#### Article 6

Subject to article 15, paragraphs 2 and 3, rights to compensation against the Supplementary Fund shall be extinguished only if they are extinguished against the 1992 Fund under article 6 of the 1992 Fund Convention.

の九

A claim made against the 1992 Fund shall be regarded as a claim made by the same claimant against the Supplementary Fund.

N

#### Article

The provisions of article 7, paragraphs 1, 2, 4, 5 and 6, of the 1992 Fund Convention shall apply to actions for compensation brought against the Supplementary Fund in accordance with article 4, paragraph 1, of this Protocol.

2

- Where an action for compensation for pollution damage has been brought before a court competent under article IX of the 1992 Liability Convention against the owner of a ship or his guarantor, such court shall have exclusive jurisdictional competence over any action against the Supplementary Fund for compensation under the provisions of article 4 of this Protocol in respect of the same damage. However, where an action for compensation for pollution damage under the 1992 Liability Convention has been brought before a court in a Contracting State to the 1992 Liability Convention but not to this Protocol, any action against the Supplementary Fund under article 4 of this Protocol shall at the option of the claimant be brought either before a court of the State where the Supplementary Fund has its headquarters or before any court of a Contracting State to this Protocol competent under article IX of the 1992 Liability Convention.
- Notwithstanding paragraph 1, where an action for compensation for pollution damage against the 1992 Fund has been brought before a court in a Contracting State to the 1992 Fund Convention but not to this Protocol, any related action against the Supplementary Fund shall, at the option of the claimant, be brought either before a court of the State where the Supplementary Fund has its headquarters or before any court of a Contracting State competent under paragraph 1.

#### Article 8

\_

- Subject to any decision concerning the distribution referred to in article 4, paragraph 3 of this Protocol, any judgment given against the Supplementary Fund by a court having jurisdiction in accordance with article 7 of this Protocol, shall, when it has become enforceable in the State of origin and is in that State no longer subject to ordinary forms of review, be recognized and enforceable in each Contracting State on the same conditions as are prescribed in article X of the 1992 Liability Convention.
- A Contracting State may apply other rules for the recognition and enforcement of judgments, provided that their effect is to ensure that judgments are recognised and enforced at least to the same extent as under paragraph 1.

2

#### Article 9

The Supplementary Fund shall, in respect of any amount of compensation for pollution damage paid by the Supplementary Fund in accordance with article 4, paragraph 1, of this Protocol, acquire by subrogation the rights that the person so compensated may enjoy under the 1992 Liability Convention against the owner or his guarantor.

であろう権利を代位によって取得する。 法令に従って支払った締約国又はその機関は、その補償の支払を受けた者がこの議定書に基づいて有した4 追加基金に対して有することがある他の代位又は求償の権利を害することなく、汚染損害の補償を国内

3

補償の支払を受けた者の保険者が有する代位の権利よりも不利なものであってはならない。の権利を害するものではない。追加基金がそれらの者に対して有する代位の権利は、いかなる場合にも、。この議定書のいかなる規定も、追加基金が1及び2に規定する者以外の者に対して有する求償又は代位

基金に対して有したであろう権利を代位によって取得する。 追加基金は、追加基金による補償の支払を受けた者が千九百九十二年基金条約に基づき千九百九十二年

#### 第十条

1 追加基金への年次拠出金は、 各締約国に関

(a) れた拠出油を、また、「当該締約国の領域内にある港又は受入施設において、それらの港又は受入施設に向けて海上を輸送さ

(b) て受け取られるものに限る。) を、揚げされた拠出油(この心の規定の適用上、揚 当該締約国の領域内にある施設において、 当該非締約国において荷揚げされた後最初に締約国におい海上を輸送されかつ非締約国の港又は受入施設において荷

次条2億又は個に規定する暦年中に総量において十五万トンを超えて受け取った者が支払う。

2 千九百九十二年基金条約第十条2の規定は、追加基金に対し拠出金を支払う義務について準用する。

#### 条

決金年 定の拠 の出

することの必要性を考慮して、各暦年につき、予算の形式で次のものについての見積りを行う。総会は、必要な場合には支払われるべき年次拠出金の額を決定するため、及び、十分な流動資金を維持

#### (i) 支出

- (a) 当該年における追加基金の管理の費用及び経費並びに前年までの運営の結果生じた不足分
- (b) う支払加料 .(そのような債権の弁済に充てるため追加基金が既に行った借入れの返済を含む。)基金が、第四条の規定に基づく追加基金に対する債権の弁済に充てるため、当該年において行

The Supplementary Fund shall acquire by subrogation the rights that the person compensated by it may enjoy under the 1992 Fund Convention against the 1992 Fund.

2

- compensation has been paid. paragraphs. In any event the right of the Supplementary Fund to subrogation against such Supplementary Fund against persons other than those referred to in the preceding person Nothing in this Protocol shall prejudice any right of recourse or subrogation of the shall not be less favourable than that of an insurer of the person to whom
- enjoyed under this Protocol paid compensation for pollution damage in accordance with provisions of national law Supplementary Fund which may exist, a Contracting State or agency thereof which shall acquire by subrogation the rights which the person so compensated would Without prejudice to any other rights of subrogation or recourse have has

#### Contributions

#### Article 10

- Contracting State by any person who, in the calendar year referred to in article 11, paragraph 2(a) or (b), has received in total quantities exceeding 150,000 tons: Annual contributions to the Supplementary Fund shall be made in respect of each
- (a) in the ports or terminal installations in the territory of that State contributing oil carried by sea to such ports or terminal installations; and
- 9 of a non-Contracting State, provided that contributing oil shall only be taken into account by virtue of this sub-paragraph on first receipt in a Contracting State after E oil which has been carried by sea and discharged in a port or terminal installation its discharge in that non-Contracting State. any installations situated in the territory of that Contracting State contributing
- respect of the obligation to pay contributions to the Supplementary Fund The provisions of article 10, paragraph 2, of the 1992 Fund Convention shall Ħ.

#### Article 11

- account of the necessity to maintain sufficient liquid funds, the Assembly shall for each calendar year make an estimate in the form of a budget of: With a view to assessing the amount of annual contributions due, if any, and taking
- Expenditure

Ξ

- (a) costs and expenses of the administration of the Supplementary Fund in the relevant year and any deficit from operations in preceding years;
- 9 Supplementary Fund for the satisfaction of such claims; article 4, including repayments on loans previously the satisfaction of claims against the Supplementary Fund due under payments to be made by the Supplementary Fund in the relevant year for taken ьy the

第十三条

5

規定に基づいて受け取られた資金との間で移転を行うことを決定することができる。総会は、追加基金の会計規則に定めるところに従い、2回の規定に基づいて受け取られた資金と2旬の総会は、追加基金の会別をできます。

S

決定することができる。年次拠出金は、追加基金の内部規則に定める日に支払うものとする。

総会は、

これと異なる支払の日を

3

取られた拠出油の総量で除することによって算出する。
2にいう一定の額は、それぞれ、必要とされる拠出金の総額を、

当該年にすべての締約国において受け

ر<sub>ى</sub>

(b)

書の締約国であったことを条件とする。た拠出油につきトン当たり一定の額で計算する。た拠出油につきトン当たり一定の額で計算する。

ただし、当該締約国が当該事故の発生の日にこの当該事故が生じた暦年の前暦年中にその者が受け

議取っ

(a)

出油1

につきトン当たり(i)(a)の支払を行う。

きトン当たり一定の額で計算するものとし、また、の支払を行うための拠出金については、前暦年中にその者が当該締約国において受け取った拠

追加基金への拠出金について準用する。

追加基金に対し拠出金を支払う義務

12

第十二

条

2

局長に対して行われる情報の送付は、この議定書に従って行われたものとみなす。に対し送付する。ただし、千九百九十二年基金条約第十五条2の規定に従って千九百九十二年基金の事務局長・締約国は、千九百九十二年基金条約第十五条の規定による油の受取に関する情報を追加基金の事務局長

#### $\Xi$ Income

(a)

- surplus funds from operations in preceding years, including any interest;
- 9 annual contributions, if required to balance the budget;
- <u></u> any other income

2

2

(c) (b)

その他の収入

いては、追加基金の事務局長が、その総会の決定に基づき、各締約国に関し、総会は、徴収されるべき拠出金の総額を決定する。前条に規定するそれぞれの者の年次拠出金の額につ

(ii)

収入

油による汚染損害補償国際条約の二千三年の議定書

(a)

前年までの運営の結果生じた剰余金(利子を含む。

予算の収支の均衡を保つために必要な場合には、

年次拠出金

- person's annual contribution: Contracting State, calculate for each person referred to in article 10, the amount of that that decision, The Assembly shall decide the total amount of contributions to be levied. On the basis of the Director of the Supplementary Fund shall, in respect of each
- (a) in so far as the contribution is for the satisfaction of payments referred to in paragraph l(i)(a) on the basis of a fixed sum for each ton of contributing oil and received in the relevant State by such person during the preceding calendar year;
- 9 incident in question occurred, provided that State was a Contracting State to this Protocol at the date of the incident. in so far as the contribution is for the satisfaction of payments referred to in paragraph l(i)(b) on the basis of a fixed sum for each ton of contributing oil received by such person during the calendar year preceding that in which the in so far as the contribution is for the satisfaction of payments referred
- The sums referred to in paragraph 2 shall be arrived at by dividing the relevant total amount of contributions required by the total amount of contributing oil received in all Contracting States in the relevant year.
- 4 The annual contribution shall be due on the date to be laid down in the Internal Regulations of the Supplementary Fund. The Assembly may decide on a different date of payment
- of the Supplementary Fund, to make transfers between funds received in accordance with paragraph 2(a) and funds received in accordance with paragraph The Assembly may decide, under conditions to be laid down in the Financial Regulations

#### Article 12

- the Supplementary Fund The provisions of article 13 of the 1992 Fund Convention shall apply to contributions б
- A Contracting State itself may assume the obligation to pay contributions to the Supplementary Fund in accordance with the procedure set out in article 14 of the 1992 Fund Convention.

Contracting States shall communicate to the Director of the Supplementary Fund information on oil receipts in accordance with article 15 of the 1992 Fund Convention provided, however, that communications made to the Director of the 1992 Fund under article 15, paragraph 2, of the 1992 Fund Convention shall be deemed to have been made also under this Protocol.

#### し 最低受

2

務局長の勧告に基づき、当該締約国が当該損失について賠償を行うか行わないかを決定する。合には、当該締約国は、追加基金に対し当該損失について賠償を行う責任を負う。総会は、追加基金の事に統約国が1に定める情報の送付を行う義務を履行しない結果として追加基金に金銭上の損失が生じた場

2

第十四条

- 第十条の規定にかかわらず、この議定書の適用上、 たものとする。 各締約国において最低百万トンの 拠出油が受け取ら
- 2 う義務を引き受ける。について追加基金への拠出をしなければならないであろう者に対しこの議定書に基づいて課されるであろについて追加基金への拠出をしなければならない者が存在しない部分に関し、自国の領域内で受け取られる油た油の総量のうち拠出をしなければならない者が存在しない部分に関し、自国の領域内で受け取られた拠出油の総量が百万トンに満たない場合には、受け取られ、締約国は、当該締約国において受け取られた拠出油の総量が百万トンに満たない場合には、受け取られ

#### 第十五条

不

遵 守

- を追加基金の事務局長に通知する。締約国に第十条の条件を満たす者がいない場合には、 当該締約国は、この議定書の目的のためにその旨
- 拒否される。約国による知 加基金の事務局長への送付及び通知の義務が遵守されなかったときは、当該事故について、補償は永久に利国による報告が行われていない旨を通告した後一年以内に第十三条1及びこの条の1の規定に基づく追2の規定に従って補償が一時的に拒否された場合において、追加基金の事務局長が締約国に対し当該締
- 行われるべき補償と相殺する。 行われるべき補償と相殺する。

#### 第十六条

- 追加基金に、 総会及び追加基金の事務局長を長とする事務局を置く
- 2 基金の総会、 **産金の総会、事務局及び事務局長について準用する。** 千九百九十二年基金条約第十七条から第二十条まで及び第二十八条から第三十三条までの規定は、 追加
- 3 千九百九十二年基金条約第三十四条の規定は、 追加基金について準用する。

…による汚染損害補償国際条約の二千三年の

議 定書

#### Fund, decide whether such compensation shall be payable by that Contracting State. loss. The Assembly shall, on the recommendation of the Director of the Supplementary referred to in paragraph I and this results in a financial loss for the Supplementary Fund, that Contracting State shall be liable to compensate the Supplementary Fund for such Where a Contracting State does not fulfil its obligations to submit the communication

minimum receipt of 1 million tons of contributing oil in each Contracting State. Notwithstanding article 10, for the purposes of this Protocol there shall be deemed to be a

2

than I million tons, the Contracting State shall assume the obligations that would be incumbent under this Protocol on any person who would be liable to contribute to the Supplementary Fund in respect of oil received within the territory of that State in so far as no liable person exists for the aggregated quantity of oil received. When the aggregate quantity of contributing oil received in a Contracting State is less

Supplementary Fund thereof. Contracting State in a Contracting State there shall for the purposes is no person meeting the conditions of purposes of this Protocol inform the l Director article 10, of that f the

N

- of that Contracting State for all years prior to the occurrence of that incident obligations to communicate to the Director of the Supplementary Fund according to article 3(a)(ii), of this Protocol, of a Contracting State in respect of a given incident or for a Contracting State shall be considered as having failed to comply with its obligations. The Assembly shall determine in the Internal Regulations the circumstances under which article 13, paragraph 1 and paragraph 1 of this article have been complied with in respect preventive measures, wherever taken, to prevent or minimize such damage, until the territory, territorial sea or exclusive economic zone or area determined in accordance with No compensation shall be paid by the Supplementary Fund for pollution damage in the
- compensation shall be denied permanently in respect of that incident if the obligations to communicate to the Director of the Supplementary Fund under article 13, paragraph 1 and of the Supplementary Fund has notified the Contracting State of its failure to report. paragraph I of this article, have not been complied with within one year after the Director Where compensation has been denied temporarily in accordance with n paragraph 2, obligations to

w

Any payments of contributions due to the Supplementary Fund shall be set off against compensation due to the debtor, or the debtor's agents.

4

## Organization and administration

- The Supplementary Fund shall have an Assembly and a Secretariat headed by a Director.
- Secretariat and Director of the Supplementary Fund Articles 17 to 20 and 28 to 33 of the 1992 Fund Convention shall apply to the Assembly,
- Article 34 of the 1992 Fund Convention shall apply to the Supplementary Fund

#### 事務局長

#### 第十七条

- 任務を遂行することができる。任務を遂行することができる。
- は、追加基金は、総会の議長によって代表される。として任務を遂行する場合であって、千九百九十二年基金と追加基金との間において利害が異なるときとして任務を遂行する場合であって、千九百九十二年基金の事務局及びその事務局長が1の規定に基づき追加基金の事務局及びその事務局長
- 条2の規定により準用される千九百九十二年基金条約第三十条の規定に違反するものとはみなされない。条約に基づいて任務を遂行する場合には、これらの者がこの条の規定に基づいて任務を遂行する限り、前3 追加基金の事務局長並びに同事務局長が任命する職員及び専門家がこの議定書及び千九百九十二年基金
- 共通の目的に留意し、千九百九十二年基金の総会と意見の一致に達するように努める。 通の問題について意見の相違が生ずる場合には、総会は、相互協力の精神に基づき、かつ、双方の基金の4 総会は、千九百九十二年基金の総会が行う決定と両立しない決定を行わないように努める。管理上の共

4

及び経費を償還する。 5 追加基金は、千九百九十二年基金が追加基金に代わって行う管理上の役務について要するすべての費用

#### 第十八条 経過規定

過

規定

- を超えないものとする。 れる年次拠出金の合計額は、当該暦年についてのこの議定書に基づく年次拠出金の総額の二十パーセントれる年次拠出金の合計額は、当該暦年についての総約国において一暦年中に受け取られた拠出油について支払わ 4の規定に従うことを条件として、一の締約国において一暦年中に受け取られた拠出油について支払わ
- 払う拠出金は、その合計額が当該総額の二十パーセントに等しくなるように、一定の割合で減額する。計額が年次拠出金の総額の二十パーセントを超える場合には、当該締約国におけるそれぞれの拠出者が支2 第十一条2及び3の規定の適用の結果として、一の締約国における拠出者が一暦年に支払う拠出金の合
- の者が支払う拠出金の総額が総会の決定する拠出金の総額に達するように、一定の割合で増額する。ての締約国における拠出者が支払う拠出金は、当該暦年に追加基金への拠出をしなければならないすべて3 いずれかの締約国における拠出者が支払う拠出金が2の規定に基づいて減額される場合には、他のすべ
- 満了する日のいずれか早い日まで適用する。規定する拠出油の量を含む。)が十億トンに達する日又はこの議定書が効力を生じた日の後十年の期間が規定する拠出油の量を含む。)が十億トンに達する日又はこの議定書が効力を生じた日の後十四条1に4から3までの規定は、すべての締約国において一暦年中に受け取られた拠出油の総量(第十四条1に

#### Article 17

- The Secretariat of the 1992 Fund, headed by the Director of the 1992 Fund, may also function as the Secretariat and the Director of the Supplementary Fund.
- If, in accordance with paragraph I, the Secretariat and the Director of the 1992 Fund also perform the function of Secretariat and Director of the Supplementary Fund, the Supplementary Fund shall be represented, in cases of conflict of interests between the 1992 Fund and the Supplementary Fund, by the Chairman of the Assembly.
- The Director of the Supplementary Fund, and the staff and experts appointed by the Director of the Supplementary Fund, performing their duties under this Protocol and the 1992 Fund Convention, shall not be regarded as contravening the provisions of article 30 of the 1992 Fund Convention as applied by article 16, paragraph 2, of this Protocol in so far as they discharge their duties in accordance with this article.
- The Assembly shall endeavour not to take decisions which are incompatible with decisions taken by the Assembly of the 1992 Fund. If differences of opinion with respect to common administrative issues arise, the Assembly shall try to reach a consensus with the Assembly of the 1992 Fund, in a spirit of mutual co-operation and with the common aims of both organizations in mind.
- The Supplementary Fund shall reimburse the 1992 Fund all costs and expenses arising from administrative services performed by the 1992 Fund on behalf of the Supplementary Fund.

U

#### Article 18

### Transitional provisions

- I Subject to paragraph 4, the aggregate amount of the annual contributions payable in respect of contributing oil received in a single Contracting State during a calendar year shall not exceed 20% of the total amount of annual contributions pursuant to this Protocol in respect of that calendar year.
- 2 If the application of the provisions in article 11, paragraphs 2 and 3, would result in the aggregate amount of the contributions payable by contributors in a single Contracting State in respect of a given calendar year exceeding 20% of the total annual contributions, the contributions payable by all contributors in that State shall be reduced pro rate so that their aggregate contributions equal 20% of the total annual contributions to the Supplementary Fund in respect of that year.
- 3 If the contributions payable by persons in a given Contracting State shall be reduced pursuant to paragraph 2, the contributions payable by persons in all other Contracting States shall be increased pro rata so as to ensure that the total amount of contributions payable by all persons liable to contribute to the Supplementary Fund in respect of the calendar year in question will reach the total amount of contributions decided by the Assembly.
- The provisions in paragraphs 1 to 3 shall operate until the total quantity of contributing oil received in all Contracting States in a calendar year, including the quantities referred to in article 14, paragraph 1, has reached 1,000 million tons or until a period of 10 years after the date of entry into force of this Protocol has elapsed, whichever occurs earlier.

4

#### 最終規定

第十九条 署名、批准、受諾、承認及び加入

- 開放しておく。 ・ この議定書は、二千三年七月三十一日から二千四年七月三十日まで、ロンドンにおいて、署名のために
- とができる。いずれかの方法により、この議定書に拘束されることについての同意を表明することができる。
- (a) 批准、受諾又は承認を条件とすることなく署名すること。
- (b) 批准、受諾又は承認を条件として署名した後、批准し、受諾し又は承認すること。

#### (c) 加入すること。

- 3 千九百九十二年基金条約の締約国のみが、この議定書の締約国となることができる。
- 4 批准、受諾、承認又は加入は、そのための正式の文書を事務局長に寄託することによって行う。

## 第二十条 拠出油に関する通知

知関拠出油に通

る。 が住所を通知し、並びにその者が前暦年中に当該国の領域内で受け取った拠出油の量に関する資料を送付すび住所を通知し、並びにその者が前暦年中に当該国の領域内で受け取った拠出油の量に関する資料を送付すし、当該国に関し第十条の規定に従い追加基金への拠出をしなければならないであろう者の氏名又は名称及し、当該国に関定は前条4に規定する文書を寄託する時及びその後毎年事務局長が決定する日に、事務局長に対名する時又は前条4に規定する文書を寄託する時及びその後毎年事務局長が決定するである。

#### 第二十一条 効力発生

効力発生

この

議定書は、

次の個及び他の要件が満たされた日の後三箇月で効力を生ずる。

書、受諾書、承認書若しくは加入書を事務局長に寄託すること。書、受諾書、承認書だとは加入書を事務局長に寄託することなくこの議定書に署名し又は批准の少なくとも八の国が、批准、受諾若しくは承認を条件とすることなくこの議定書に署名しては批准

#### Final clauses

#### Article 19

## Signature, ratification, acceptance, approval and accession

- This Protocol shall be open for signature at London from 31 July 2003 to 30 July 2004.
- States may express their consent to be bound by this Protocol by:
- (a) signature without reservation as to ratification, acceptance or approval; or
- (b) signature subject to ratification, acceptance or approval followed by ratification, acceptance or approval; or
- accession.

<u></u>

- 3 Only Contracting States to the 1992 Fund Convention may become Contracting States to this Protocol.
- 4 Ratification, acceptance, approval or accession shall be effected by the deposit of a formal instrument to that effect with the Secretary-General.

#### Article 20

## Information on contributing oil

Before this Protocol comes into force for a State, that State shall, when signing this Protocol in accordance with article 19, paragraph 2(a), or when depositing an instrument referred to in article 19, paragraph 4 of this Protocol, and annually thereafter at a date to be determined by the Secretary-General, communicate to the Secretary-General the name and address of any person who in respect of that State would be liable to contribute to the Supplementary Fund pursuant to article 10 as well as data on the relevant quantities of contributing oil received by any such person in the territory of that State during the preceding calendar year.

#### Article 21

#### Entry into force

- This Protocol shall enter into force three months following the date on which the following requirements are fulfilled:
- at least eight States have signed the Protocol without reservation as to ratification, acceptance or approval, or have deposited instruments of ratification, acceptance, approval or accession with the Secretary-General; and

報を千九百九十二年基金の事務局長から受領すること。 条1に規定する拠出油の量を含む。) において少なくとも四億五千万トンの拠出油を受け取った旨の情条1に規定する拠出油の量を含む。) において少なくとも四億五千万トンの拠出油を受け取った旨の情報を手机のであろう者が前暦年中に総量(第十四)

の国が該当する文書を寄託した日の後三箇月で効力を生ずる。となくこれに加入する国については、そとなくこれに署名し又はこれを批准し、受諾し若しくは承認し若しくはこれに加入する国については、そこの議定書は、1 に規定する効力発生の要件が満たされた後に批准、受諾若しくは承認を条件とするこ

2

国について効力を生ずるまでは効力を生ずることはない。 3 1及び2の規定にかかわらず、この議定書は、いずれの国についても、千九百九十二年基金条約がその

第二十二条 総会の第一回会期

一回会期 総会の第

に、いかなる場合にもその効力発生の後三十日以内に開催する。事務局長は、総会の第一回会期を招集する。その会期は、この議定書の効力発生の後できる限り速やか

第二十三条 改正

改

正

機関は、この議定書の改正のための会議を招集することができる。

1

会議を招集する。 と 機関は、すべての締約国の三分の一以上からの要請がある場合には、この議定書の改正のための締約国

第二十四条 補償の限度額の改正

正度補 額の改 改限

の改正案を機関のすべての加盟国及びすべての締約国に送付する。 事務局長は、締約国の少なくとも四分の一の要請がある場合には、第四条2回に規定する補償の限度額

のため機関の法律委員会に付託する。 2 1の規定により提案されかつ送付された改正案は、送付された日の後六箇月目の日以後に行われる審議

法律委員会の審議に参加する権利を有する。 3 この議定書のすべての締約国は、機関の加盟国であるかないかを問わず、改正案の審議及び採択のため

(b) the Secretary-General has received information from the Director of the 1992 Fund that those persons who would be liable to contribute pursuant to article 10 have received during the preceding calendar year a total quantity of at least 450 million tons of contributing oil, including the quantities referred to in article 14, paragraph 1.

For each State which signs this Protocol without reservation as to ratification, acceptance or approval, or which ratifies, accepts, approves or accedes to this Protocol, after the conditions in paragraph 1 for entry into force have been met, the Protocol shall enter into force three months following the date of the deposit by such State of the appropriate instrument.

Notwithstanding paragraphs 1 and 2, this Protocol shall not enter into force in respect of any State until the 1992 Fund Convention enters into force for that State.

w

#### rticle 22

### First session of the Assembly

The Secretary-General shall convene the first session of the Assembly. This session shall take place as soon as possible after the entry into force of this Protocol and, in any case, not more than thirty days after such entry into force.

#### Article 23

### Revision and amendment

- A conference for the purpose of revising or amending this Protocol may be convened by the Organization.
- 2 The Organization shall convene a Conference of Contracting States for the purpose of revising or amending this Protocol at the request of not less than one third of all Contracting States.

#### Article 2

## Amendment of compensation limit

- Upon the request of at least one quarter of the Contracting States, any proposal to amend the limit of the amount of compensation laid down in article 4, paragraph 2 (a), shall be circulated by the Secretary-General to all Members of the Organization and to all Contracting States.
- 2 Any amendment proposed and circulated as above shall be submitted to the Legal Committee of the Organization for consideration at a date at least six months after the date of its circulation.
- 3 All Contracting States to this Protocol, whether or not Members of the Organization, shall be entitled to participate in the proceedings of the Legal Committee for the consideration and adoption of amendments.

- 生じた損害の額及び貨幣価値の変動を考慮する。 生じた損害の額及び貨幣価値の変動を考慮する。 法律委員会は、限度額の改正案について決定を行う場合には、事故の経験、特にそれらの事故によって
- 審議することはできない。 できず、また、この条の規定に基づいて先に行われた改正が効力を生じた日から三年を経過する時までできず、また、この条の規定に基づいて行われる限度額の改正は、この議定書が効力を生ずる日前に審議することは
- と当該限度額との合計額を超えるような引上げを行うことはできない。と当該限度額との決定が効力を生ずる日までの間について年六パーセントの複利による計算をして得た増額分と 限度額については、この議定書に定める限度額につきこの議定書が署名のために開放される日から法
- きない。 (ロ) 限度額については、この議定書に定める限度額に三を乗じた額を超えるような引上げを行うことはで (ロ) 限度額については、この議定書に定める限度額に三を乗じた額を超えるような引上げを行うことはで
- には、その改正は、受諾されず、効力を生じない。の採択の時に締約国であった国の四分の一以上が機関に対しその改正を受諾しない旨の通知を行った場合の採択の時に締約国であった国の四分の一以上が機関に対しその 期間が満了した時に受諾されたものとみなされる。ただし、その期間内に、法律委員会における改正7機関は、4の規定に従って採択された改正をすべての締約国に通告する。改正は、通告の日の後十二箇7機関は、4の規定に従って採択された改正をすべての締約国に通告する。改正は、通告の日の後十二箇

7

- 8 7の規定により受諾されたものとみなされる改正は、その受諾の後十二箇月で効力を生ずる。
- に効力を生ずる。てこの議定書を廃棄しない限り、その改正によって拘束される。その廃棄は、その改正が効力を生ずる時てこの議定書を廃棄しない限り、その改正によって拘束される。その廃棄は、その改正が効力を生ずる日の少なくとも六箇月前に第二十六条1及び2の規定に基づい
- はその時に、その改正によって拘束される。 はその時に、その改正によって拘束される。 はその時に、その改正によって拘束される。 これらの場合において、当該に締約国となる国は、7の規定により受諾された改正によって拘束される。これらの場合において、当該となった国は、その改正が効力を生ずる場合には、その改正によって拘束される。その期間が満了した後となった国は、その改正によって拘束される。その期間が満了した後となった国は、その改正によって拘束される。

## 第二十五条 千九百九十二年基金条約の議定書

ことができる。この場合には、前条6の規定は、適用しない。(4)に規定する限度額について、前条に規定する手続により、その引き上げられた額と同じ額を引き上げる1 千九百九十二年基金条約に規定する限度額が同条約の議定書により引き上げられた場合には、第四条2

- Amendments shall be adopted by a two-thirds majority of the Contracting States present and voting in the Legal Committee, expanded as provided for in paragraph 3, on condition that at least one half of the Contracting States shall be present at the time of voting.
- When acting on a proposal to amend the limit, the Legal Committee shall take into account the experience of incidents and in particular the amount of damage resulting therefrom and changes in the monetary values.

u

6

4

- (a) No amendments of the limit under this article may be considered before the date of entry into force of this Protocol nor less than three years from the date of entry into force of a previous amendment under this article.
- (b) The limit may not be increased so as to exceed an amount which corresponds to the limit laid down in this Protocol increased by six per cent per year calculated on a compound basis from the date when this Protocol is opened for signature to the date on which the Legal Committee's decision comes into force.
- (c) The limit may not be increased so as to exceed an amount which corresponds to the limit laid down in this Protocol multiplied by three.
- Any amendment adopted in accordance with paragraph 4 shall be notified by the Organization to all Contracting States. The amendment shall be deemed to have been accepted at the end of a period of twelve months after the date of notification, unless within that period not less than one quarter of the States that were Contracting States at the time of the adoption of the amendment by the Legal Committee have communicated to the Organization that they do not accept the amendment, in which case the amendment is rejected and shall have no effect.
- An amendment deemed to have been accepted in accordance with paragraph 7 shall enter into force twelve months after its acceptance.
- All Contracting States shall be bound by the amendment, unless they denounce this Protocol in accordance with article 26, paragraphs 1 and 2, at least six months before the amendment enters into force. Such denunciation shall take effect when the amendment enters into force.

9

10

00

When an amendment has been adopted by the Legal Committee but the twelve-month period for its acceptance has not yet expired, a State which becomes a Contracting State during that period shall be bound by the amendment if tenters into force. A State which becomes a Contracting State after that period shall be bound by an amendment which has been accepted in accordance with paragraph 7. In the cases referred to in this paragraph, a State becomes bound by an amendment when that amendment enters into force, or when this Protocol enters into force for that State, if later.

#### Article 2:

## Protocols to the 1992 Fund Convention

If the limits laid down in the 1992 Fund Convention have been increased by a Protocol thereto, the limit laid down in article 4, paragraph 2(a), may be increased by the same amount by means of the procedure set out in article 24. The provisions of article 24, paragraph 6, shall not apply in such cases.

第二十六条 廃棄

締約国は、この議定書が自国について効力を生じた日の後は、いつでもこれを廃棄することができる。

2 廃棄は、事務局長に廃棄書を寄託することによって行う。

3 廃棄は、事務局長への廃棄書の寄託の後十二箇月で、又は廃棄書に明記するこれよりも長い期間の後

- 生ずる。
  4 千九百九十二年の議定書の廃棄が同議定書第三十四条の規定に従って効力を生ずる日に効力をを改正する千九百九十二年基金条約の廃棄は、この議定書の廃棄とみなす。その廃棄は、千九百七十一年基金条約
- 定書の規定は、引き続き適用する。 にいう事故でその廃棄が効力を生ずる前に生じたものにつき追加基金への拠出をする義務に関するこの議にいう事故でその廃棄が効力を生ずる前に生じたものにつき追加基金への拠出をする義務に関するこの議といずれかの締約国がこの条の規定に基づいてこの議定書の廃棄を行った場合においても、第十一条2回

S

4

w

ы

第二十七条 総会の臨時会期

時会期

- 後六十日以内に総会を招集する。し、総会の臨時会期を招集するよう要請することができる。追加基金の事務局長は、その要請を受領したし、総会の臨時会期を招集するよう要請することができる。追加基金の事務局長は対を著しく引き上げることとなると認める場合には、その寄託の後九十日以内に、追加基金の事務局長に対し、総約国は、いずれかの締約国による廃棄書の寄託がその結果として残余の締約国に関する拠出金の水準1 締約国は、いずれかの締約国による廃棄書の寄託がその結果として残余の締約国に関する拠出金の水準
- 以内に総会の臨時会期を招集することができる。 以内に総会の臨時会期を招集することができる。 追加基金の水準を著しく引き上げることとなると認める場合には、自己の発議により、その寄託の後六十日 と 追加基金の事務局長は、いずれかの締約国による廃棄書の寄託がその結果として残余の締約国に関する

2

3 1又は2の規定に従って招集された臨時会期において、総会が、当該廃棄は、同じ日に効力を生する日の百二十日前までに、この議定書を廃棄することができるものとし、その廃棄は、同じ日に効力を生する日の百二十日前までに、この議定書を廃棄すると決定した場合には、いずれの締約国も、当該廃棄が残余の締約国に関する拠出する。

#### 匹匹

If the procedure referred to in paragraph 1 has been applied, any subsequent amendment of the limit laid down in article 4, paragraph 2, by application of the procedure in article 24 shall, for the purpose of article 24, paragraphs 6(b) and (c), be calculated on the basis of the new limit as increased in accordance with paragraph 1.

N

#### Article 26

#### Denunciation

- This Protocol may be denounced by any Contracting State at any time after the date on which it enters into force for that Contracting State.
- Denunciation shall be effected by the deposit of an instrument with Secretary-General.

the

- A denunciation shall take effect twelve months, or such longer period as may be specified in the instrument of denunciation, after its deposit with the Secretary-General.
- Denunciation of the 1992 Fund Convention shall be deemed to be a denunciation of this Protocol. Such denunciation shall take effect on the date on which denunciation of the Protocol of 1992 to amend the 1971 Fund Convention takes effect according to article 34 of that Protocol.
- Notwithstanding a denunciation of the present Protocol by a Contracting State pursuant to this article, any provisions of this Protocol relating to the obligations to make contributions to the Supplementary Fund with respect to an incident referred to in article 11, paragraph 2(b), and occurring before the denunciation takes effect, shall continue to apply.

#### Article 27

## Extraordinary sessions of the Assembly

- Any Contracting State may, within ninety days after the deposit of an instrument of denunciation the result of which it considers will significantly increase the level of contributions for the remaining Contracting States, request the Director of the Supplementary Fund to convene an extraordinary session of the Assembly. The Director of the Supplementary Fund shall convene the Assembly to meet not later than sixty days after receipt of the request.
- The Director of the Supplementary Fund may take the initiative to convene an extraordinary session of the Assembly to meet within sixty days after the deposit of any instrument of denunciation, if the Director of the Supplementary Fund considers that such denunciation will result in a significant increase in the level of contributions of the remaining Contracting States.
- If the Assembly at an extraordinary session convened in accordance with paragraph 1 or 2 decides that the denunciation will result in a significant increase in the level of contributions for the remaining Contracting States, any such State may, not later than one hundred and twenty days before the date on which the denunciation takes effect, denounce this Protocol with effect from the same date.

w

第二十八条

終了

条1に規定する拠出油の量を含む。)が三億五千万トン未満になった日のいずれか早い日に効力を失う。この議定書は、締約国の数が七未満になった日又は締約国において受け取られた拠出油の総量(第十四

第二十九条 追加基金の清算

の清算 追加基金

- 追加基金は、この議定書が効力を失う場合にも、
- (a) この議定書が効力を失う前に生じた事故に関する義務を負うものとし、また、
- (b) 範囲内で拠出金の徴収に関する権利を行使することができる。(回に規定する義務の履行(そのために必要な追加基金の管理の経費の支出を含む。)のために必要な追加基金の管理の経費の支出を含む。)のために必要な
- 2 る分配を含むすべての適当な措置をとる。総会は、追加基金の清算のため、追加基金への拠出をした者の間における残余の資産の公平な方法による分配を含むすべての適当な措置をとる。
- 3 この条の規定の適用上、 追加基金は、法人として存続する

第三十条 寄託者

寄

託 者

1 この議定書及び第二十四条の規定により受諾された改正は、事務局長に寄託する。

2 事務局長は、次のことを行う

- (a) 署名国又は加入国に対して次の事項を通知すること。
- (i) 新たに行われた署名又は文書の寄託及びその署名又は寄託の日
- (ii) この議定書の効力発生の目
- (iii) 第二十四条1の規定により提案された補償の限度額の改正案

#### Article 28

#### Termination

This Protocol shall cease to be in force on the date when the number of Contracting States falls below seven or the total quantity of contributing oil received in the remaining Contracting States, including the quantities referred to in article 14, paragraph 1, falls below 350 million tons, whichever occurs earlier

\_

States which are bound by this Protocol on the day before the date it ceases to be in force shall enable the Supplementary Fund to exercise its functions as described in article 29 and shall, for that purpose only, remain bound by this Protocol.

2

#### Article 29

## Winding up of the Supplementary Fund

- If this Protocol ceases to be in force, the Supplementary Fund shall nevertheless:
- meet its obligations in respect of any incident occurring before the Protocol ceased to be in force;

(a)

- 9 be entitled to exercise its rights to contributions to the extent that these contributions are necessary to meet the obligations under paragraph 1(a), including expenses for the administration of the Supplementary Fund necessary for this purpose.
- The Assembly shall take all appropriate measures to complete the winding up of the Supplementary Fund, including the distribution in an equitable manner of any remaining assets among those persons who have contributed to the Supplementary Fund

2

For the purposes of this article the Supplementary Fund shall remain a legal person

دی

#### Article 30

#### Depositary

- Secretary-General. This Protocol and any amendments accepted under article 24 shall be deposited with the
- The Secretary-General shall

2

- (a) inform all States which have signed or acceded to this Protocol of:
- each new signature or deposit of an instrument together with the date thereof;
- the date of entry into force of this Protocol;

 $\Xi$ 

 $\Xi$ been made in accordance with article 24, paragraph 1; any proposal to amend the limit of the amount of compensation which has

図 第二十四条4の規定に従って採択された改正

により効力を生ずる日 (以) 第二十四条7の規定により受諾されたものとみなされる改正並びにその改正が同条8及び9の規定 (以) 第二十四条7の規定により受諾されたものとみなされる改正並びにその改正が同条8及び9の規定

□ この議定書の廃棄書の寄託、その寄託の日及びその廃棄が効力を生ずる日

文を登録及び公表のため国際連合事務局に送付する。 事務局長は、この議定書が効力を生じたときは直ちに、国際連合憲章第百二条の規定に従い、その条約

第三十一条 言語

言

語

より原本一通を作成する。 この議定書は、ひとしく正文であるアラビア語、中国語、英語、フランス語、ロシア語及びスペイン語に

二千三年五月十六日にロンドンで作成した。

末

文

以上の証拠として、下名は、各自の政府から正当に委任を受けてこの議定書に署名した。

- (iv) any amendment which has been adopted in accordance with article 24, paragraph 4;
- any amendment deemed to have been accepted under article 24, paragraph 7, together with the date on which that amendment shall enter into force in accordance with paragraphs 8 and 9 of that article;

ઉ

- (vi) the deposit of an instrument of denunciation of this Protocol together with the date of the deposit and the date on which it takes effect;
- (vii) any communication called for by any article in this Protocol;
- (b) transmit certified true copies of this Protocol to all Signatory States and to all States which accede to the Protocol.
- As soon as this Protocol enters into force, the text shall be transmitted by the Secretary-General to the Secretariat of the United Nations for registration and publication in accordance with Article 102 of the Charter of the United Nations.

w

#### Article 31

#### Languages

This Protocol is established in a single original in the Arabic, Chinese, English, French, Russian and Spanish languages, each text being equally authentic.

DONE AT LONDON this sixteenth day of May, two thousand and three.

IN WITNESS WHEREOF the undersigned, being duly authorised by their respective Governments for that purpose, have signed this Protocol.

とするものである。 この議定書は、千九百九十二年基金による補償が十分でない場合に補償を行う追加的な国際基金を設立すること等を内容(参考)